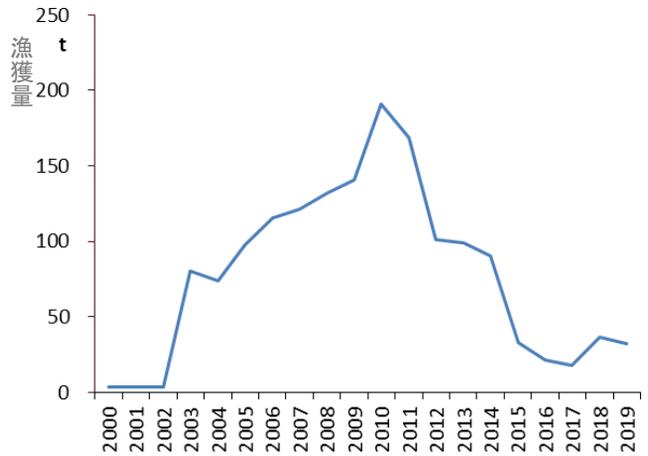


資源の動向 「低位・減少」

東京内湾(横浜市、横須賀市)のマナマコの漁獲量は2003年から2010年(191t)まで急増したが、その後減少しており、近年では、20~30tの低水準を推移している。

東京湾では2015年から一部の漁業協同組合が禁漁による資源保護を行なっているが、貧酸素水の影響もあり、資源の回復状況は思わしくない。



東京内湾のマナマコ漁獲量の年変化
(東京内湾:横浜市漁協, 横須賀市東部漁協横須賀支所の水揚げ計)

主な対象漁業

- 小型底びき網
- 刺網
- 覗突き



生物学的特性

- 分布: 北海道~九州
岩礁域、砂泥底
- 移動: 着底後は少ない
- 成長: 生後3, 4年で漁獲サイズに達すると考えられている
- 産卵期: 4~5月

